



まいにちかいえん  
～毎日開園 だれでも気軽に来られる動物園～

2013年7月号  
No. 15

# 200っといっしょ

## 今月のニュース!

### ○ヤギ5頭が仲間入り!!

6月13日に群馬サファリパークからオスのヤギ5頭が仲間入りしました。ヤギ舎とこどもどうぶつコーナーで展示を開始しました。

今回仲間入りしたのは・・・

頭と首のつけ根あたりに小さい鈴すずのようなもの（肉ぜん又は肉すいと呼びます）がある日本ザーネン種と、角の生える向きがまっすぐで、成長するとお腹の下の毛が長くなるピグミーゴート種です。

名前と特徴は下のとおりです。

まだ小さくて愛くるしい姿をぜひ見に来て下さい。



日本ザーネン種



ピグミーゴート種

#### ●ヤギ舎

日本ザーネン種 ター（体が大きい子）

パー（体が小さい子）

ピグミーゴート種 ゲン（体が丸い子）

3頭とも前からいる「グララ」と仲良くしています!

#### ●こどもどうぶつコーナー

日本ザーネン種 タラ（体の大きい子）

ホタテ（体の小さい子）

### ○水族館にも新しい仲間が入りました!!

海水魚の水槽すいすうに「ハタタテダイ」と「マンジュウイシモチ」  
「ミヤコテングハギ」が入りました。

- ・ハタタテダイは白と黒のしま模様が特徴です。また、背びれが長く伸びていることで、これが白い旗をなびかせているように見えることから、その名前が付けられています。
- ・マンジュウイシモチの特徴は眼が赤くて大きいことです。
- ・ミヤコテングハギの特徴は眼から口にかけては黒っぽい帯おびが見られ、口や腹びれ、しりびれはオレンジ色をしています。

### ○タヌキ変身中!!



ホンダタヌキが冬毛から夏毛かつやくに衣替えをしています。寒い冬の間かつやくに活躍したモコモコの冬毛が暑い夏を過ごしやすくするために抜けてスリムな夏毛のタヌキになります。まだところどころ冬毛が残っていますが、初夏しよかまでには全て抜け落ちてスッキリします。

### ○ガチョウが水鳥池へ移動しました

こどもどうぶつコーナーで展示していたガチョウ2羽が水鳥池へ移動しました!



## 60周年イベント情報

### ☆動物愛護の標語募集

7月1日～31日まで、動物の愛護に関する標語を募集します。応募はクモザル舎屋内展示室にある応募用紙にご記入いただき応募箱に入れていただくか、郵送でお送りください。

動物を通じて感じたやさしい気持ちや思い出などを標語にしてください。

### ☆第2回どうぶつ総選挙

前回アジアゾウの優勝で終わったどうぶつ総選挙。今回も12種類の選抜メンバーせんぱつが、人気を競い合います。前回と同じメンバーだけでなく、半分以上は新たな挑戦者ちようせんしやです。アジアゾウの2冠なるか?意外などうぶつが1位になるかも?皆さんの1票で決まります。ご来園の際は清き一票をお願いします!

ほくたちも  
でるよ!



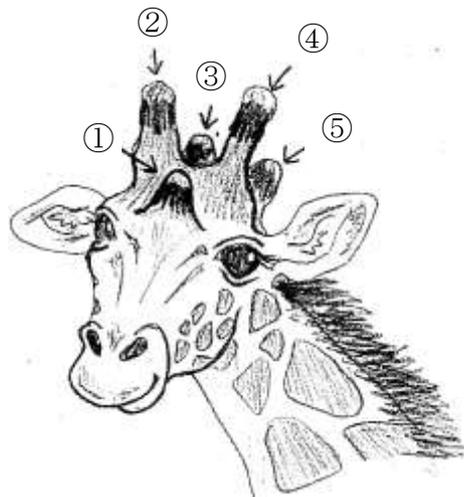
## キリンの角

みなさん、キリンの角は何本生えているか知っていますか？

2本でも3本でもなく、正解は・・・5本です。

頭の前に1本・上に2本・後ろに2本生えています。前と後ろの3本の角はコブのように見えますが、ちゃんとした角です。上の2本は、オス同士の闘い(ネッキング)などに使われますが、他の3本は進化前の名残ではないかと言われています。この角は、頭骨の一部が突出し、その部分に皮膚が覆いかぶさっています。違った目線で動物たちを観察するといろいろな発見がありますのでよく観察してみてください。

※ネッキングとは、オス同士が首を鞭のように振り闘うことです。



## フラミンゴたちは何をやっているの??

5月号でフラミンゴたちの求愛行動について紹介しました。それから2か月が経ち、フラミンゴたちはというと・・・

少しずつではありますが、巣作りを始めるようになりました！

つがいになったフラミンゴたちは気に入った場所で、高さ5～38 cmほどの泥の山を作ります。つがいによって好みの高さがあるみたいですね。親は山の上に座り、首の届く範囲の泥や土を嘴で少しずつ積み上げていきます。山のでっぺんはへこんでいて産んだ卵が落ちないようになっています。

フラミンゴたちは集団で営巣し繁殖します。

1つのつがいで卵を1つ産みます。まれに2つ産むことがあります。約1ヶ月間、卵をオス、メス交代で温めます。

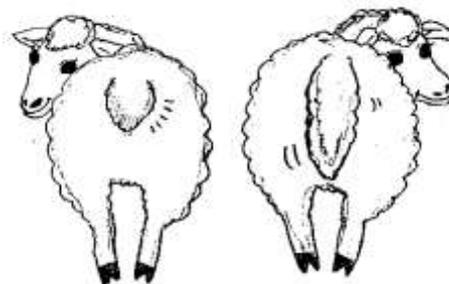
今年もかわいいヒナが見られるといいですね!!

がんばれ、フラミンゴ!



今回も3人の飼育員さんたちに、担当している動物たちについて話を聞きました♪

## ヒツジのしっぽ



皆さんがふだん目にしていない短いしっぽが、ヒツジの自然なしっぽだと思いませんか？

何とそれがちがうのです！短いしっぽは元々は20cmほどの長さで、小さな子ヒツジのうちに断尾しているのです。

理由としては、脂肪と毛でできた重たいしっぽは振り回してハエなどの虫を払うことができず、大きいので排泄の際、フン尿で汚れて衛生的にもよくありません。

さらに繁殖時には交尾の邪魔になってしまいます。そのため血管や骨がしっかりする前の小さなうちに尾を切り落とす断尾を行なうのです。

ちょっぴりかわいそうな気もしますが、ヒツジさんのために行うことです。

